

第2期朝来市創生総合戦略の計画期間変更に伴う評価指標の目標値の変更(案)

資料 4

基本目標1 自分らしく生き生きと活躍する「ひと」づくり

◆ASAGOINGな人を育む

◎市民一人一人が自分らしく生き生きと活躍しながら「まち」とつながるASAGOINGな人づくり

成果指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
朝来市が好きだと思う生徒の割合(中学3年生アンケート調査)	87.0% (R1アンケート調査)	90.0%	90.0%	1		
住んでいる地域に愛着や誇りを持つ市民の割合(市民アンケート調査)	62.8% (R1アンケート調査)	<u>65.0%</u>	<u>65.8%</u>	5	第3次総合計画最終年度R11年度の目標値67.8%に向かって年間に0.5ポイントずつ増加する中でのR7年度の値。	

成果達成に向けた活動指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
学校運営協議会を導入し、地域と連携した学校・地域の課題解決や活動した学校の割合	小学校 22.2% 中学校 0%	小学校 100.0% 中学校 100.0%	小学校 100.0% 中学校 100.0%	1		
「地域行事に参加した」児童生徒の割合	小学校 65.7% 中学校 33.9%	小学校 75.0% 中学校 55.0%	小学校 75.0% 中学校 55.0%	1		
区の地域活動に参加した市民の割合(市民アンケート調査)	69.7% (R1アンケート調査)	<u>75.0%</u>	<u>66.1%</u>	5	第3次総合計画最終年度R11年度の目標値68.1%に向かって年間に0.5ポイントずつ増加する中でのR7年度の値。	策定時に「人数の割合」としていたが、正しくは「市民の割合」であったため修正

◎市民一人一人が好きなこと・得意なことなどを地域社会で発揮し多様な活動を促進するひとづくり

成果指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方	
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠
自らの知識や経験を地域社会活動に活かしている市民の割合（市民アンケート調査）	28.7% (R1アンケート調査)	<u>32.0%</u>	<u>27.8%</u>	5	第3次総合計画最終年度R11年度の目標値29.8%に向かって年間に0.5ポイントずつ増加する中でのR7年度の値。

成果達成に向けた活動指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方	
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠
地域づくりの学びの場開催回数	5回/年 (R1年度)	5回/年	5回/年	1	
地域自治協議会の参画人数	1,671人 (H30年度)	<u>1,850人</u>	<u>1,870人</u>	2	策定時に5年間で10%増を目指していたため、策定時の考え方を踏襲し、6年間で12%増加。

◆ASAGOiNGな仲間づくり

◎移住・定住の促進や関係人口の創出・拡大によるASAGOiNGな仲間づくり

成果指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方	
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠
朝来市に住み続けたいと思う市民の割合（市民アンケート調査）	65.4% (R1アンケート調査)	70.0%	70.0%	1	
朝来市の移住支援制度を利用して転入した人数	566人 (H26～H30年度)	<u>1,250人（累計）</u> (H26～R6年度)	<u>1,360人（累計）</u> (H26～R7年度)	2	策定時の考え方を踏襲し、次の計算式により算出。 566人÷5年（H26～30）×12年（H26～R7）=1,358.4≒1,360人

成果達成に向けた活動指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方	
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠
移住相談件数（過去5年間の平均値）	194件/年 (H26～H30年度平均)	<u>200件/年</u> (R2～R6年度平均)	<u>200件/年</u> (R3～R7年度平均)	1	
体験・移住交流プログラム件数	5件/年 (H30年度)	6件/年	6件/年	1	

◎結婚を希望する人の出会いの機会の創出

成果指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方	
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠
婚姻数（兵庫県人口動態調査）	151組/年 (H30年度)	150組/年	150組/年	1	

成果達成に向けた活動指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方	
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠
婚活イベントの開催回数	6回/年 (R1年度)	7回/年	7回/年	1	

◎移住者や在住外国人などの地域の受入れ体制の充実

成果指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方	
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠
居住年数10年未満の市民で朝来市が住みやすいと思っている市民の割合（市民アンケート調査）	62.8% (R1アンケート調査)	70.0%	70.0%	1	

成果達成に向けた活動指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方	
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠
移住者交流会実施回数	2回/年 (H30年度)	3回/年	3回/年	1	
居住年数10年未満の市民で区の活動に参加した市民の割合（市民アンケート調査）	50.0% (R1アンケート調査)	<u>55.0%</u>	<u>56.0%</u>	2	策定時の考え方を踏襲し、年間に1ポイント増加。

◆一人一人の行動につなげる情報発信

◎一人一人の行動につなげる情報発信の充実

成果指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方	
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠
家族や友だちに朝来市への移住を勧めたいと思う市民の割合（市民アンケート調査）	37.9% (R1アンケート調査)	45.0%	46.5%	2	策定時の考え方を踏襲し、年間に約1.5ポイント増加（小数点以下は0.5%単位で切り捨て）。
自らの知識や経験を地域社会活動に活かしている市民の割合（市民アンケート調査）〔再掲〕	28.7% (R1アンケート調査)	32.0%	27.8%	5	第3次総合計画最終年度R11年度の目標値29.8%に向かって年間に0.5ポイントずつ増加する中でのR7年度の値。

成果達成に向けた活動指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方	
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠
市SNSアカウントによる発信回数	325回/年 (H30年度)	580回/年	580回/年	1	
情報発信に係る講座開催回数	0回/年 (H30年度)	2回/年	2回/年	1	

基本目標2 魅力ある多様な「しごと」づくり

◆内発的な経済成長

◎市内企業で働く人材の確保

成果指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
市内事業所への新卒就業者数 (抽出：就活サポートブック掲載企業のうち製造業、建設業、福祉事業31社)	56人/年 (H29年度)	60人/年	60人/年	1		

成果達成に向けた活動指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
ジョブサポあさご求職相談件数	15人/年 (H30年度)	17人/年	17人/年	1		
合同企業説明会参加者数	109人/年 (H30年度)	110人/年	110人/年	1		
大学生・高校生・中学生等の仕事体験受入事業数（しごとゼミ、トライやるウィーク等）	126事業所/年 (R1年度)	130事業所/年	130事業所/年	1		

◎市内企業等の稼ぐ力の向上

成果指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
創業件数	11件/年 (H30年度)	<u>60件(累計)</u> <u>(R2~R6年度)</u>	<u>72件(累計)</u> <u>(R2~R7年度)</u>	2	策定時の考え方を踏襲し、年間平均12件の創業を目指し、R2からR6までの6年間の累計。 12件×6年=72件	あさご元気産業創生センターが支援した件数

成果達成に向けた活動指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
あさご元気産業創生センター相談件数	51件/年 (H30年度)	60件/年	60件/年	1		
起業セミナー(創業塾)参加者数	28人/年 (R1年度)	20人/年	20人/年	1		

◎誰もが安心して希望に応じたやりがいのある働き方の実現

成果指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
朝来市内女性就業者比率 (国勢調査) (女性の生産年齢人口の就業者数/女性の生産年齢人口)	68.8% (H27国勢調査)	70.8% (R7国勢調査)	70.8% (R7国勢調査)	1		

成果達成に向けた活動指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
多様な働き方を推進するための事業所向けセミナー開催回数	1回/年 (R1年度)	1回/年	1回/年	1		
働き方改革や多様な働き方を推進するセミナー参加事業所数	10事業所/年 (R1年度)	12事業所/年	12事業所/年	1		
放課後児童クラブ・放課後子ども教室設置数	11施設 (R1年度)	12施設	12施設	1		
病児保育設置箇所数(病児対応型・病後児対応型)	2施設 (R1年度)	3施設	3施設	1		

◆交流人口拡大による経済循環活動の促進
 ◎朝来市の強みを生かした観光誘客の推進

成果指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
観光入込客数（観光動態調査）	2,278千人/年 (H30年度)	2,572千人/年	2,387千人/年	5	コロナ前のR1の実績値2,142千人を基準として、第3次総合計画最終年度R11年度の目標値2,632千人に向かって年間に約61千人ずつ増加する中でのR7年度の値。	

成果達成に向けた活動指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
体験型観光プログラム数	30件 (R1年度)	42件	44件	2	策定時の考え方を踏襲し、年間に2件増加。	
朝来市観光ポータルサイト閲覧ユーザー数	176,665ユーザー/年 (H30年度)	249,000ユーザー/年	261,000ユーザー/年	2	策定時の考え方を踏襲し、年間に12千ユーザー増加。	
各種メディアでの情報発信回数	229回/年 (H30年度)	290回/年	290回/年	1		

◎観光客一人当たりの観光消費額の拡大

成果指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
一人当たりの観光消費額	<u>3,527円</u> (R1年度)	<u>3,836円</u>				R3年度から下の2項目に指標を変更
一人当たりの観光消費額 (市内宿泊あり)	<u>14,117円</u> (H29年度)		<u>16,728円</u>	6	コロナ前のR1の実績値16,084円を基準として、第3次総合計画最終年度R11年度の目標値17,371円に向かって年間に約160円ずつ増加する中でのR7年度の値。	R3年度から観光消費額を宿泊の有・無ごとに明確にするため、指標を変更
一人当たりの観光消費額 (市内宿泊なし)	<u>2,590円</u> (H29年度)		<u>2,834円</u>	6	コロナ前のR1の実績値2,725円を基準として、第3次総合計画最終年度R11年度の目標値2,943円に向かって年間に約27円ずつ増加する中でのR7年度の値。	R3年度から観光消費額を宿泊の有・無ごとに明確にするため、指標を変更

成果達成に向けた活動指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
延べ宿泊者数	112,770人/年 (H30年度)	<u>133,000人/年</u>	<u>135,500人/年</u>	2	策定時の考え方を踏襲し、年間に2,500人増加。	
観光ガイド登録者数	53人 (H30年度)	60人	60人	1		

◎インバウンド観光の推進

成果指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
インバウンド来訪客数	10千人/年 (H30年度)	23千人/年	25千人/年	2	策定時の考え方を踏襲し、年間に2,500人増加（小数点以下は切り捨て）。	

成果達成に向けた活動指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
朝来市多言語サイト「Visit Asago」の閲覧ユーザー数	2,651ユーザー (R1年11月)	10,000ユーザー	10,000ユーザー	1		

◆儲ける農林畜産業への転換
◎農林畜産業の担い手の確保・育成

成果指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
認定農業者数	29人 (R1年度)	44人	47人	2	策定時の考え方を踏襲し、年間に3人増加。	
市研修制度を活用した新規就農者数	18人 (H28～R1年度)	50人(累計) (H28～R6年度)	50人(累計) (H28～R7年度)	4		
新たに農業に携わる女性の数	—	100人(累計) (R2～R6年度)	120人(累計) (R2～R7年度)	2	策定時の考え方を踏襲し、年間に20人増加。	

成果達成に向けた活動指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
就業希望者向けイベント出展回数	8回/年 (R1年度)	13回/年	13回/年	1		
小・中学校での農林畜産業体験回数(1校あたり年間実施回数)	0.92回/校・年 (R1年度)	2回/校・年	2回/校・年	1		
農業経営セミナー開催数	0回/年 (R1年度)	3回/年	3回/年	4		

◎農業所得の向上に向けた取組の推進

成果指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
朝来市全体の農業収入額	11.6億円 (H30年度)	13.0億円	13.0億円	4		

成果達成に向けた活動指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
道の駅農産物販売額	327,839千円 (H30年度)	<u>367,180千円</u>	<u>373,736千円</u>	2	策定時の考え方を踏襲し、年間に6,556千円増加。	
学校給食への地元食材供給率	<u>36.0%</u> (H30年度)	50.0%	50.0%	4		策定時に現状値の入力誤りがあり、現状値を36%に修正
有機JAS、GAP、HACCP取得農業者数	2人 (H30年度)	17人	17人	4		

◎生産量拡大や作業負担軽減・低コスト化に向けた新たな農林畜産業の推進

活動指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
大規模ビニールハウス設置数	40棟 (H30年度)	60棟	60棟	4		
大学・企業等研究機関と連携した新技術導入研究件数	0件/年 (R1年度)	1件/年	1件/年	1		

◎森林の利活用の推進

成果指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
素材生産量（兵庫県林業統計書） （市内山林での立木を伐採し丸太にして販売した生産量）	15,789m ³ /年 (H29県林業統計書)	18,000m ³ /年	30,000m ³ /年	5	朝来市森林ビジョン2022に基づく。	

成果達成に向けた活動指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
林業労働者数（兵庫県林業統計書）	55人 (H29県林業統計書)	65人	65人	1		
私有林整備面積	40ha/年 (R1年度)	80ha/年	120ha/年	5	森林環境譲与税に係る使途計画書に基づく。	
未利用材搬出量	5,560t/年 (H30年度)	8,000t/年	8,406t/年	2	策定時の考え方を踏襲し、年間に406t増加。	

基本目標3 誰もが希望を持ち、心豊かに安心して暮らせる「まち」づくり

◆地域コミュニティを基盤とした誰にも居場所と役割のあるまちづくり

◎地域特性を生かした地域の主体的なまちづくりの推進

成果指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
地域自治協議会の参画人数 〔再掲〕	1,671人 (H30年度)	<u>1,850人</u>	<u>1,870人</u>	2	策定時に5年間で10%増を目指していたため、策定時の考え方を踏襲し、6年間で12%増加。	
自らの知識や経験を地域社会活動に活かしている市民の割合（市民アンケート調査）〔再掲〕	28.7% (R1アンケート調査)	<u>32.0%</u>	<u>27.8%</u>	5	第3次総合計画最終年度R11年度の目標値29.8%に向かって年間に0.5ポイントずつ増加する中でのR7年度の値。	

成果達成に向けた活動指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
住民アンケート等地域住民の意見を反映して地域まちづくり計画策定作業（見直し分）をした地域自治協議会数	6協議会 (R1年度)	11協議会	11協議会	1		
地域の多様な主体・活動をつなぐ対話の場等開催回数	0回/年 (R1年度)	4回/年	4回/年	1		
地域づくりの学びの場開催回数〔再掲〕	5回/年 (R1年度)	5回/年	5回/年	1		

◆誰もが安心して楽しく暮らせるまちづくり

◎一人一人が地域とつながりを持ち安心して自分らしく暮らすことができる地域共生社会の実現

成果指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
区の地域活動に参加した市民の割合（市民アンケート調査）〔再掲〕	69.7% (R1アンケート調査)	75.0%	66.1%	5	第3次総合計画最終年度R11年度の目標値68.1%に向かって年間に0.5ポイントずつ増加する中でのR7年度の値。	

成果達成に向けた活動指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
あさごいきいき百歳体操実施グループ数	64グループ (H31年3月)	80グループ	83グループ	2	策定時の考え方を踏襲し、年間に約2.5グループ増加。	策定時に「区数」としていたが、正しくは「グループ数」であったため修正
地域ミニデイ事業登録グループ数	66グループ (H31年3月)	84グループ	87グループ	2	策定時の考え方を踏襲し、年間に3グループ増加。	策定時に「区数」としていたが、正しくは「グループ数」であったため修正
ひきこもり等居場所づくり事業数	0事業 (R1年度)	1事業	1事業	1		

◎在住外国人など多様な人が安心して暮らすことができる多文化共生社会の実現

成果指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
国際交流・国内交流など多様な交流が推進されていると感じる市民の割合（市民アンケート調査）	43.6% (R1アンケート調査)	45.0%				R4年度から下の2項目に指標を変更
在住外国人と地域とのつながりづくりが進められていると感じる市民の割合（市民アンケート調査）	19.1% (R4アンケート調査)		21.1%	6	第3次総合計画最終年度R11年度の目標値23.1%に向かって年間0.5ポイントずつ増加する中でのR7年度の値。	R4年度からより成果指標として適切な指標に変更
国際交流において多様な文化に触れる機会があると感じる市民の割合（市民アンケート調査）	11.6% (R4アンケート調査)		13.6%	6	第3次総合計画最終年度R11年度の目標値15.6%になるように向かって年間0.5ポイントずつ増加する中でのR7年度の値。	R4年度からより成果指標として適切な指標に変更

成果達成に向けた活動指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
日本語教室参加者数	32人 (R1年12月)	40人	42人	2	策定時の考え方を踏襲し、年間に約1.5人増加。	
日本語教室ボランティアスタッフ数	22人 (R1年12月)	27人	28人	2	策定時の考え方を踏襲し、年間に1人増加。	

◎誰もが生きがいを感じ健やかで幸せに暮らすことができる健幸づくりの推進

成果指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
65歳以上の要支援・要介護認定率	21.8% (H31年3月)	20.0%	20.0%	1		

成果達成に向けた活動指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
健幸づくりポイント事業寄附及び交換申請者数	788人/年 (R1年度)	<u>1,040人/年</u>	<u>1,090人/年</u>	2	策定時の考え方を踏襲し、年間に50人増加。	
小学6年生の肥満傾向の出現率（朝来市養護教諭研究会）	男7.7%、女9.4% (R1年度)	男5.0%、女5.0%	男5.0%、女5.0%	1		
あさごいきいき百歳体操実施グループ数〔再掲〕	<u>64グループ</u> (H31年3月)	<u>80グループ</u>	<u>83グループ</u>	2	策定時の考え方を踏襲し、年間に約2.5グループ増加。	策定時に「区数」としていたが、正しくは「グループ数」であったため修正
地域ミニデイ事業登録グループ数〔再掲〕	<u>66グループ</u> (H31年3月)	<u>84グループ</u>	<u>87グループ</u>	2	策定時の考え方を踏襲し、年間に3グループ増加。	策定時に「区数」としていたが、正しくは「グループ数」であったため修正

◆まちづくりや市民の暮らしを支えるための連携の強化

◎地域間連携・政策間連携などによる効果的・効率的な事業の推進

活動指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
丹波市・福知山市の生活圏域での連携分野数	4分野 (R1年度)	6分野	6分野	1		
連携協定大学数	3校 (R1年度)	5校	5校	1		

◎持続可能な地域公共交通による安心した暮らしの実現

成果指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
公共交通利用者数（路線バス・コミュニティバス年間利用者数）	234,246人 (H30年度)	216,000人	216,000人	4		

成果達成に向けた活動指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
新たな利用促進事業実施件数	0事業 (R1年度)	<u>5事業（累計）</u> (R2～R6年度)	<u>6事業（累計）</u> (R2～R7年度)	2	策定時の考え方を踏襲し、年間に1事業増加。	
新たな交通手段の導入件数	1事業 (R1年度)	<u>2事業（累計）</u> (R2～R6年度)	<u>2事業（累計）</u> (R2～R7年度)	2		

◎市民の多様な活動や暮らしを支えるための公共施設の適正配置

成果指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
公共施設の延べ床面積	240,258㎡ (H28年度)	216,233㎡	216,233㎡	4		

成果達成に向けた活動指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
公共施設個別施設計画策定率 (対総床面積)	1.3% (H28年度)	100.0%	100.0%	1		
公共施設の有効活用に向けた対話・周知活動数	1件/年 (H30年度)	2件/年	2件/年	1		

◎生物多様性の保全と持続可能な利用による自然共生社会の実現

成果指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
環境にやさしいまちづくりが進められていると感じている市民の割合（市民アンケート調査）	13.1% (R1アンケート調査)	<u>15.0%</u>	<u>14.5%</u>	5	第3次総合計画最終年度R11年度の目標値16.5%に向かって年間0.5ポイントずつ増加する中でのR7年度の値。	

成果達成に向けた活動指標	現状値	変更前	変更後	目標値変更の考え方		備考
		目標値(R6)	目標値(R7)	No.	根拠	
地域・学校等での環境学習の開催回数	42回/年 (H30年度)	53回/年	53回/年	1		
コウノトリ育む農法等環境保全型農業耕作面積	80ha (H30年度)	<u>150ha</u>	<u>161ha</u>	2	策定時の考え方を踏襲し、年間に11.5ha増加。	
オオサンショウウオを学ぶ出前講座回数	3回/年 (R1年度)	5回/年	5回/年	1		